

夢と誇り

世界都市・高松を目指して 飛躍する年に

新年明けましておめでとうございます。

令和7年、2025年が始まりました。今年は、6回目となる瀬戸内国際芸術祭 2025 が開催される年で、コロナ明けに急回復しているインバウンド（海外からの観光客）がこれまで以上に多数、香川、高松に来訪することが予想されています。それに加えて、大阪市の人工島「夢洲（ゆめしま）」では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が開催され、瀬戸内海を中心としたこの地域を世界にアピールする大きなチャンスとなる年です。

そして、この大きな国際イベントに時期を合わせるように、高松市のサンポート地区では、中四国最大級の約1万人収容のアリーナを有する香川県立アリーナ（愛称「あなぶきアリーナ香川」）がいよいよ2月末にオープンし、4月には高松駅直結の19階建ての徳島文理大学高松駅キャンパスが開学します。昨年3月に営業を始めた新駅ビル「高松オルネ」も想定以上の盛況ぶりとのことであり、高松市の顔とも言えるサンポート高松地区が賑わいスポットとしてガラリと生まれ変わります。特に県立アリーナはランドマークとして、オーストラリア、シドニーのオペラハウスにも匹敵するデザイン性の高い建築物であり、自慢の種になるものだと思います。さらに、大型施設関係では今年、中央卸売市場の青果棟が朝日町に移転改築して4月にオープン。競輪場の再整備、中央公園の再整備、中央図書館等の入るサンクリスタル高松の再整備も具体的に動き出します。本当に楽しみです。

今年の私の抱負を表す漢字一文字は、「躍」（やく、おどる）にしました。瀬戸内国際芸術祭 2025 や大阪・関西万博など大きな国際イベントを梃子としながら「世界都市・高松」を目指して、躍動、飛躍する年にしていきたいと思います。



高松市長 大西 秀人

後援会会長 平田 喜一郎

大西ひでと後援会会長 平田 喜一郎

世界都市・高松の実現へ

明けておめでとう、後援会の皆様方におかれましては、日頃から大西市長への御支援、心より御礼申し上げます。

さて、ご存知のように、今年四月から大阪・関西万博が開催されますが、同時期に六回目の瀬戸内国際芸術祭も開催されることになっています。

おそらく国内外から多くの観光客が高松市を訪れることになり、これまでに経験したことのない賑わいをみせることになるのではないかと考えております。

まさに大西市長が提唱されてきた世界都市・高松の実現に向けて、今年二〇二五年は絶好の機会になりますし、その意味で、高松市が大いに飛躍する節目の年になると期待しております。

合わせて、国の政治・経済の情勢も大きく変わろうとしている中で、大西市長には、いかなる手腕を発揮していただきたいと思っております。

後援会といたしましては、引き続き大西市長をしっかり支えてまいりたいと存じますので、会員皆様方のお二層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

大西ひでと
後援会報
vol.19
2025年1月

夢と誇り 大西ひでと後援会会報 vol.19 令和7年1月1日発行

編集発行／大西ひでと後援会 〒760-0062 高松市塩上町10-5 池商はせビル1F TEL.087-899-7625 FAX.087-899-7624



大西ひでとの主な活動報告 2024

東京事務所開所イベント 「せとうちの特等席 - 香川県高松市 -」 5/22



首都圏の多様な主体とのネットワークづくりや、シティプロモーションにつながる情報収集・情報発信などを行うため、4月に東京事務所を開所。開所を広く周知し、本市の魅力をPRするため、5月22日に開所イベント『せとうちの特等席 - 香川県高松市 -』に参加しました。今後、高松ファンを更に増やし、関係人口の拡大などにつなげていきます。

やしまーる開館2周年 記念イベント開催 8/3



「やしまーる2周年」記念イベントに参加しました。屋島の魅力を余すことなく知ることができ、屋島の情報を発信する拠点でもある「やしまーる」は、開館以来さまざまなイベントなどを通して多くの交流を生んでいます。引き続き、市民や関係者の皆さまと手を取り合いながら、皆さまに愛され、屋島の魅力を伝える施設であり続けられるよう力を尽くします。

屋島レクザムフィールドで ジャパンパラ陸上競技大会 9/28.29



曇り空のもと、2024ジャパンパラ陸上競技大会が開催され、多くの来場者に間近でパラ競技の魅力を感じていただきました。屋島レクザムフィールドで4月に、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の日本代表選手の最終調整合宿が行われ、日本パラ陸上競技連盟の増田明美会長は、プログラムに「高松はパラ陸上の聖地」と記しています。

国民健康保険中央会会長に就任 6/28



公益社団法人国民健康保険中央会の会長に就任しました。同会は国民健康保険事業、高齢者医療事業、健康保険事業、介護保険事業、障害者総合支援事業の普及や健全な運営を図ることで、社会保障や国民保健の向上に寄与することを目的としています。会員である各都道府県の国保連合会を支援し、国民皆保険制度を支える国民健康保険の安定化に取り組みます。

パリ五輪で金メダル 日下尚選手に高松市市民栄誉賞 9/16.17



パリ2024オリンピック競技大会 レスリング男子グレコローマンスタイル77kg級で、見事金メダルを獲得された日下尚選手の凱旋パレードを香川県と共に開催。翌17日には、市役所1階市民ホールで同選手への高松市市民栄誉賞表彰式を行いました。また、同選手を本市の魅力を発信する「高松市観光大使」に委嘱させていただきました。

高松市・水戸市親善都市提携 50周年記念式典 11/8



昭和49年の親善都市提携の締結以来、文化やスポーツなどの分野で多彩な交流を通じて両市の理解と友好を深めながら50周年の節目の年を迎えることができました。その記念事業として、記念品の交換や、動画の上映などのほか、愛媛大学 胡光（えべす ひかる）教授に「水戸徳川家と高松松平家」と題する記念講演を行っていただきました。

大西ひでと後援会事務所



〒760-0062 高松市塩上町10-5 池商はせビル1階
TEL.087-899-7625 FAX.087-899-7624

大西ひでと後援会
http://www.oi-hideto.com/

2024 後援会活動報告

1月4日
後援会会報「夢と誇り」第18号を発行
会報第18号を発行し、全会員に会費納入依頼とともに送付いたしました。

3月6日・4月25日
後援会連絡事務所看板の改修・設置
市内各所に設置している後援会連絡事務所看板を点検し、このうち、破損したり、劣化しているものについて改修し、再設置しました。

5月28日
役員会、総会および懇親会を開催
令和6年度役員会、通常総会に続き、懇親会を開催し大西市長と会員が交流を深めました。



目指すべき都市像

「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」

高松市は、目指すべき都市像として

「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」を掲げ、2024年度からスタートさせた第7次総合計画に基づき、まちづくりプランを推進しています。

中央卸売市場の再整備

青果棟の移転改築後、青果棟跡地に水産物棟を建て替えし、余剰地を民間収益施設用地として活用する予定です。水産物棟を核として、市内外の観光地とも連携し、地方水産都市の新たな海業モデルとなる観光・交流拠点とすることで、市場活性化や水産振興にも貢献し、「高松市場のファン」が増えるような開発を目指しています。



新青果棟

高松市中央公園の再整備

老朽化が進み維持管理費が年々増加している公園施設の更新・改修に合わせて、新たな魅力を創出するため、公園全体の再整備を進めています。目指しているのは「目的地となる場所」「回遊の拠点」です。今ある樹木など既存施設を生かしながら、民間の活力を導入してにぎわいを創出する方針で、本年度末までに実施設計を取りまとめ、2025年度の着工を目指しています。



高松競輪場の再整備

2025年7月から老朽化が進んでいる福岡町の高松競輪場の建て替え工事に始まり、2027年度からのプレオープンを予定しています。観客席を減らしてコンパクトな施設に造り替え、余剰地にはサイクルツーリズムの拠点となるホテルや公園、カフェなどを設けて、家族連れなども楽しめるエリアにしていきます。



進化する サンポートエリア

サンポート高松地区ではJR四国の駅直結型複合ビル「TAKAMATSU ORNE (タカマツオルネ)」が2024年3月に開業しました。さらに、2025年2月には県立アリーナ、4月に大学、2027年夏には外資系ホテルの開設が予定される中、高松市のシーフロント、サンポート高松地区を新たな拠点として一体的なまちづくりを進めています。



刻々と進化するシーフロントエリア



東京事務所の活動

東京圏での官民連携やプロモーション強化のために活動しています。多様な民間企業などとの交流を通じたネットワークづくりを始め、国内外に向け高松市の魅力を情報発信しています。



瀬戸芸2025の取り組み



本市は、アーティストの創造・発表の機会を創出し、市民等が良質な文化芸術を鑑賞できる機会の創出を図ることで、文化芸術を生かしたまちづくりを進めています。2025年4月に開幕する瀬戸内国際芸術祭2025でも、高松市の魅力を発信していきます。

大阪・関西万博への取り組み



2025年4月から始まる大阪・関西万博に向け、産官が一丸となって大阪以西へ誘客することを目的として「西のゴールデンルートアライアンス」を昨年5月に設立しました。今後は、各行政単位を超えた大きな枠組みで、WEBメディア等を活用した海外向けプロモーションなどを行うことにより、誘客につなげてまいります。

「世界都市・高松」を目指す シティプロモーション

高松市は、本市の認知度を向上し、シビックプライド（市民の誇りと愛着）を醸成するため、シティプロモーションを推めています。2024年4月に開所した東京事務所との連携やシティプロモーションプロデューサーの活用、SNSなどを活用した情報発信を通じて、「選ばれるまち」を目指します。